

湘南医療大学大学院 保健医療学研究科 ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーの関連性について

◆ディプロマ・ポリシー

身に つける べき 素養・ 資 質 能 力	①	(専門知識・能力・研究分野以外の人間や社会の多様性への理解) 学際的・多角的な視野に立ち、人文・社会・自然科学など幅広い学問の素養を基に、生命の尊厳を重視し、「保健医療学」を通し、高度専門職業人、研究者として社会的に貢献できる能力を有している。
	②	(実践力・教育活用能力) 保健医療学分野において研究ならびに教育的視点を有する専門職として、地域連携できる現場での臨床実践者、あるいは保健医療関連の教育に携わる能力を有している。
	③	(研究課題の発見、考察、設定、研究方法の構築) 多様なニーズに基づき、各専攻領域に関わる諸問題・課題を独自に見いだして考察の上、自らの研究・課題を計画的に進め、諸課題を科学的に改善・解決する論理的思考、分析評価能力、及び論理的態度を備えている。
	④	(管理・指導力) 保健医療学の実践に携わる多彩な職種の中で、高度専門職業人として協働し、患者の状況に的確に対応した医療を提供できる能力に加え、中心的役割を担える管理・指導能力を有している。
	⑤	(コミュニケーション・表現力) 研究者に求められる論理的なプレゼンテーション・コミュニケーション能力に加え、学術文献を活用して専門知識等を修得・理解することができ、論文作成・文章表現能力を有する。
	⑥	(社会的な責任と倫理観) 高度専門職業人に求められる豊かな教養と臨床に根ざした社会的な責任と倫理観を有している。
	⑦	共通科目及び専門科目で修得した知識をもとに新しい知識を創造する応用力、課題を探究する能力、課題に対して計画的に研究を推進する能力、さらに、地域包括ケアに適應できる能力を修得する。更に、発表や討論を通して、専門的な文献の読解力や、柔軟で論理的な思考力及びコミュニケーション能力を修得する。



◆修了後の進路

（保健衛生・臨床現場の医療技術・助産分野の 高度専門職業人 職）	(健康増進・予防領域) 医療機関、介護保険下の諸施設、保健福祉行政等で、継続教育の指導的立場で職員的能力開発の指導に携わる。さらには臨床実習学生の教育・研究活動に従事する 等
	(心身機能回復領域) 医療機関、介護保険下の諸施設、保健福祉行政等で、継続教育の指導的立場で職員的能力開発の指導に携わる。さらには臨床実習学生の教育・研究活動に従事する 等
（保健衛生・臨床現場の医療技術・助産分野の 高度専門職業人 職）	(助産学領域) 産科を標榜する病医院及び助産院(MFICU, NICU)、院内助産システムの施設、保健所、母子保健センター、在宅出産に関わる施設 等
	(その他全領域) 国家公務員・地方公務員、医療関連企業等において、健康増進・障害予防などの政策立案企画などに関する地域保健医療のコーディネーターやコンサルタント業
（研究・助産・教育・医療技術）	国家公務員・地方公務員（研究機関研究職、市町村の健康政策や母子保健行政担当）、地域保健医療計画の策定にかかわる実践的な研究者、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校、幼児教育機関等の教育並びに研究機関での教育者及び研究者
進学	博士課程への進学 認定看護管理コース

◆カリキュラム・ポリシー

保健医療学専攻CP									
共通科目	「共通科目(10科目)」は、保健医療学の総合的なコンセプトの修得、多職種との連携能力、並びに自己の専門性の上に保健医療学分野で活躍するために必要な高い倫理性と豊かな人間性を身に付け、バランスの取れた高度専門職業人や研究者となるべき「社会性の涵養」に役立つ科目及び、保健医療に関する幅広い知識・技術の修得に基盤となる科目を配置する。						関連するDP	授業科目名	
								①②③④⑤⑥	保健医療学特論
							②④⑥	医療倫理学特論	
							①④	医療社会学特論	
							①②④⑥	生涯教育特論	
							①③⑤	英語講読	
							②③⑥	研究特論	
							①②③④	医療管理学特論	
							①②⑥	形態機能・病態学特論	
							②④	家族ケア特論	
							①②③④⑤⑥	多職種協働・地域連携特論	
専門科目	保健衛生学分野、医療技術学分野及び助産学分野のそれぞれにおいて、専門性を深めて、保健医療学における高度専門職業人を育成するために、3研究領域に固有の「専門科目(35科目)」を配置する。この専門科目では、相互の関連を常に意識した横断的な科目群の設定になっているため、個々の学生が選択した研究主領域の他に領域を超えて、関連した科目の単位を取得することも可能とし、理論面と高度の専門知識・技術を修得して、専門分野における優れた実践能力を身に付け、地域の人の健康全般に関わり、疾病予防、健康維持・増進から疾病の回復、支援に至るまで、保健医療福祉の活動について幅広い領域の知識取得を可能としている。								
		健康増進・予防領域		心身機能回復領域		助産学領域			
	領域科目CP	関連するDP	授業科目名	領域科目CP	関連するDP	授業科目名	領域科目CP	関連するDP	授業科目名
	高度専門職業人として、「健康増進・予防領域」における高度な専門性を深化させるとともに、学際的・多角的な視野を広げる。	①②⑥	在宅・公衆衛生学特論Ⅰ	高度専門職業人として、「心身機能回復領域」における高度な専門性を深化させるとともに、学際的・多角的な視野を広げる。	①②⑥	運動・動作制御学特論	助産学領域における高度な専門性を深化させるために、エビデンスに基づく学習課題から学際的な視野を広げた研究課題の洗練を通して課題思考力を養う。また演習・実習科目では、先行研究やフィールドワークで討論しながら経験知を洗練して、助産師が持つべき高度な助産実践力(専門知識・技術・態度)を培う。研究の遂行力は助産学の履修と並行し演習や専門学術集会の発表・参加を通して探究する。	①②③⑥	助産学概論
	演習科目では、在宅・公衆衛生学・女性保健学・生活支援医療学、精神保健医療学の分野における先行研究やフィールドワークで課題を検討し、科学的、論理的思考かつ実践力を培い、研究方法については演習を通して探究する。	②③	在宅・公衆衛生学演習	演習科目では、運動・動作制御学、呼吸循環機能学、運動機能回復学、脳機能回復学の分野における先行研究やフィールドワークで課題を検討し、科学的、論理的思考かつ実践力を培い、研究方法については演習を通して探究する。	②③	運動・動作制御学演習	助産学領域における高度な専門性を深化させるために、エビデンスに基づく学習課題から学際的な視野を広げた研究課題の洗練を通して課題思考力を養う。また演習・実習科目では、先行研究やフィールドワークで討論しながら経験知を洗練して、助産師が持つべき高度な助産実践力(専門知識・技術・態度)を培う。研究の遂行力は助産学の履修と並行し演習や専門学術集会の発表・参加を通して探究する。	①②③④⑥	助産学特論Ⅰ
	I 健康増進・予防領域を学ぶ上で必要となる健康衛生の動向やマクロ的なものを見方を学ぶ科目を置く。	①②⑥	女性保健学特論Ⅰ	I 心身機能回復領域を学ぶ上で必要となる医療技術の動向やマクロ的なものを見方を学ぶ科目を置く。	①②⑥	呼吸循環機能学特論	助産学領域における高度な専門性を深化させるために、エビデンスに基づく学習課題から学際的な視野を広げた研究課題の洗練を通して課題思考力を養う。また演習・実習科目では、先行研究やフィールドワークで討論しながら経験知を洗練して、助産師が持つべき高度な助産実践力(専門知識・技術・態度)を培う。研究の遂行力は助産学の履修と並行し演習や専門学術集会の発表・参加を通して探究する。	①②⑥	助産学特論Ⅱ
	II 健康増進・予防領域に関わる理論面の構築と高度な専門知識・技術を修得する科目を置く。	①②⑥	女性保健学特論Ⅱ	II 心身機能回復領域に関わる理論面の構築と高度な専門知識・技術を修得する科目を置く。	②③	呼吸循環機能学演習	助産学領域における高度な専門性を深化させるために、エビデンスに基づく学習課題から学際的な視野を広げた研究課題の洗練を通して課題思考力を養う。また演習・実習科目では、先行研究やフィールドワークで討論しながら経験知を洗練して、助産師が持つべき高度な助産実践力(専門知識・技術・態度)を培う。研究の遂行力は助産学の履修と並行し演習や専門学術集会の発表・参加を通して探究する。	①②⑥	地域・国際助産学特論
	III 多職種連携、チーム医療活動における健康増進・予防領域の課題や考察能力を修得し、地域社会に貢献する能力を修得する科目を置く。	②③	女性保健学演習	III 心身機能回復領域を学ぶ上で必要となる医療技術の動向やマクロ的なものを見方を学ぶ科目を置く。	①②⑥	運動機能回復学特論	助産学領域における高度な専門性を深化させるために、エビデンスに基づく学習課題から学際的な視野を広げた研究課題の洗練を通して課題思考力を養う。また演習・実習科目では、先行研究やフィールドワークで討論しながら経験知を洗練して、助産師が持つべき高度な助産実践力(専門知識・技術・態度)を培う。研究の遂行力は助産学の履修と並行し演習や専門学術集会の発表・参加を通して探究する。	①②④⑥	助産管理・経営学
	その他、多様な分野からの入学生に対応するために、保健医療学部の定められた科目を科目等履修生として受講し、保健医療学の基礎知識を修得する。	①②③⑥	生活支援医療学特論Ⅰ	その他、多様な分野からの入学生に対応するために、保健医療学部の定められた科目を科目等履修生として受講し、保健医療学の基礎知識を修得する。	②③	運動機能回復学演習	助産学領域における高度な専門性を深化させるために、エビデンスに基づく学習課題から学際的な視野を広げた研究課題の洗練を通して課題思考力を養う。また演習・実習科目では、先行研究やフィールドワークで討論しながら経験知を洗練して、助産師が持つべき高度な助産実践力(専門知識・技術・態度)を培う。研究の遂行力は助産学の履修と並行し演習や専門学術集会の発表・参加を通して探究する。	①②③⑥	母乳育児支援論
		②③	生活支援医療学特論Ⅱ		①②⑥	脳機能回復学特論	助産学領域における高度な専門性を深化させるために、エビデンスに基づく学習課題から学際的な視野を広げた研究課題の洗練を通して課題思考力を養う。また演習・実習科目では、先行研究やフィールドワークで討論しながら経験知を洗練して、助産師が持つべき高度な助産実践力(専門知識・技術・態度)を培う。研究の遂行力は助産学の履修と並行し演習や専門学術集会の発表・参加を通して探究する。	①②⑥	比較文化助産論
		②③	生活支援医療学演習Ⅰ		②③	脳機能回復学演習	助産学領域における高度な専門性を深化させるために、エビデンスに基づく学習課題から学際的な視野を広げた研究課題の洗練を通して課題思考力を養う。また演習・実習科目では、先行研究やフィールドワークで討論しながら経験知を洗練して、助産師が持つべき高度な助産実践力(専門知識・技術・態度)を培う。研究の遂行力は助産学の履修と並行し演習や専門学術集会の発表・参加を通して探究する。	②③	助産学教育・研究・実践論
		②③	生活支援医療学演習Ⅱ		②③	助産学演習Ⅰ	助産学領域における高度な専門性を深化させるために、エビデンスに基づく学習課題から学際的な視野を広げた研究課題の洗練を通して課題思考力を養う。また演習・実習科目では、先行研究やフィールドワークで討論しながら経験知を洗練して、助産師が持つべき高度な助産実践力(専門知識・技術・態度)を培う。研究の遂行力は助産学の履修と並行し演習や専門学術集会の発表・参加を通して探究する。	②③	助産学演習Ⅰ
		②③	精神保健医療学特論Ⅰ		②③	助産学演習Ⅱ	助産学領域における高度な専門性を深化させるために、エビデンスに基づく学習課題から学際的な視野を広げた研究課題の洗練を通して課題思考力を養う。また演習・実習科目では、先行研究やフィールドワークで討論しながら経験知を洗練して、助産師が持つべき高度な助産実践力(専門知識・技術・態度)を培う。研究の遂行力は助産学の履修と並行し演習や専門学術集会の発表・参加を通して探究する。	②③	助産学演習Ⅱ
		①②③⑥	精神保健医療学特論Ⅱ		②⑥	助産学実習Ⅰ	助産学領域における高度な専門性を深化させるために、エビデンスに基づく学習課題から学際的な視野を広げた研究課題の洗練を通して課題思考力を養う。また演習・実習科目では、先行研究やフィールドワークで討論しながら経験知を洗練して、助産師が持つべき高度な助産実践力(専門知識・技術・態度)を培う。研究の遂行力は助産学の履修と並行し演習や専門学術集会の発表・参加を通して探究する。	②⑥	助産学実習Ⅰ
		②③	精神保健医療学演習		②④⑥	助産学実習Ⅱ	助産学領域における高度な専門性を深化させるために、エビデンスに基づく学習課題から学際的な視野を広げた研究課題の洗練を通して課題思考力を養う。また演習・実習科目では、先行研究やフィールドワークで討論しながら経験知を洗練して、助産師が持つべき高度な助産実践力(専門知識・技術・態度)を培う。研究の遂行力は助産学の履修と並行し演習や専門学術集会の発表・参加を通して探究する。	②④⑥	助産学実習Ⅱ
		②⑥			②⑥	助産学実習Ⅲ	助産学領域における高度な専門性を深化させるために、エビデンスに基づく学習課題から学際的な視野を広げた研究課題の洗練を通して課題思考力を養う。また演習・実習科目では、先行研究やフィールドワークで討論しながら経験知を洗練して、助産師が持つべき高度な助産実践力(専門知識・技術・態度)を培う。研究の遂行力は助産学の履修と並行し演習や専門学術集会の発表・参加を通して探究する。	②⑥	助産学実習Ⅲ
特別研究	特別研究科目(3科目)は、修士論文に必要な科目を配置する。選択した主たる研究領域科目にかかる研究成果を、修士論文として提出する。また、「特別研究科目」では、「共通科目」及び「専門科目」で修得した知識をもとに新しい知識を創造する応用力、課題を探究する能力、課題に対して計画的に研究を推進する能力、さらに、地域包括ケアシステムに適應できる能力を修得する。また、発表や討論を通して、専門的な文献の読解力や、柔軟で論理的な思考力及びコミュニケーション能力を修得する。								
		健康増進・予防領域		心身機能回復領域		助産学領域			
	領域科目CP	関連するDP	授業科目名	領域科目CP	関連するDP	授業科目名	領域科目CP	関連するDP	授業科目名
	健康増進・予防領域における保健衛生の課題を見出し、修士論文の研究指導を受けて、高度専門職業人としての実践能力の向上に貢献する保健医療学基礎研究・応用研究の基盤の修得を目指す。	⑦	健康増進・予防特別研究	心身機能回復領域における医療技術の課題を見出し、修士論文の研究指導を受けて、高度専門職業人としての実践能力の向上に貢献する保健医療学基礎研究・応用研究の基盤の修得を目指す。	⑦	心身機能回復特別研究	助産学領域における助産学の課題を見出し、修士論文の研究指導を受けて、高度専門職業人としての実践能力の向上に貢献する助産学基礎研究・応用研究の基盤の修得を目指す。	⑦	助産学特別研究